

## 平成21年3月期 第3四半期決算短信

平成21年2月6日

上場取引所 JQ

上場会社名 株式会社 ニチロサンフーズ  
 コード番号 2879 URL <http://www.nichiro-sun.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐藤 光一  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 川島 義則  
 四半期報告書提出予定日 平成21年2月6日

TEL 0258-22-3800

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成21年3月期第3四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	10,556	—	170	—	179	—	86	—
20年3月期第3四半期	9,959	△1.7	171	9.8	176	8.6	93	12.3

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	10.86	—
20年3月期第3四半期	11.73	—

## (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	%
21年3月期第3四半期	8,212	—	4,047	—	49.3	—	505.99	—
20年3月期	7,020	—	3,997	—	56.9	—	499.67	—

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 4,047百万円 20年3月期 3,997百万円

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
21年3月期	—	5.00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,500	5.7	240	138.2	230	141.6	40	12.4	5.00

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

## 4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無  
 新規 — 社(社名) 除外 — 社(社名)
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有  
 [(注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。]
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)  
 ① 会計基準等の改正に伴う変更 有  
 ② ①以外の変更 無  
 [(注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。]
- (4) 発行済株式数(普通株式)  
 ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第3四半期 8,000,000株 20年3月期 8,000,000株  
 ② 期末自己株式数 21年3月期第3四半期 796株 20年3月期 一株  
 ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第3四半期 7,999,293株 20年3月期第3四半期 8,000,000株

## ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(1) 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(2) 本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、3ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

・定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米国の信用力の低い個人向け住宅融資（サブプライムローン）問題を震源とした米国発の世界的な金融危機により、グローバル化した経済は、欧州更には新興国にも波及、世界同時不況の様相を呈し、自動車などの輸出製造業を中心に大幅な減産に追い込まれ、雇用問題にも波及し景気後退局面に入ったと見られるわが国経済の回復時期が問われる状況となっております。

食品業界におきましても、当社の主原料である畜肉原料の値上がりが著しく、加えて小麦粉などの副原料の値上がりが続き、一時的に原油が反落したとはいえ、原料高や調達問題などが企業活動に大きく影響しました。

また、中国製ギョウザによる中毒事件の影響が残るなか、事故米の不正使用問題、更には中国メーカー産の乳製品から化学物質（メラミン）の検出問題など食の安全を揺るがす大きな問題が多発し、消費者の食に対する不信感が一層高まりました。

このような状況の下、当社グループ（当社及び当社の連結子会社）は、加工食品事業につきましては、品質保証を第一に、生産性の向上、新商品開発、重点育成商品の集中販売、重点販売先への拡販に注力いたしました。また、ムダ取り運動（生産性の向上運動）を積極的に推進し、歩留りアップ、人員見直し、時間外削減による能率アップ、更に仕入先の見直しなどコスト削減に努めました。

パン事業につきましては、調理パン類及び軽食惣菜類が減収となり、焼成パン類が増収となりましたが全体では減収となり、また、生産ロスの低減、歩留り向上及び設備稼働率アップなどの生産工程の見直しなどコスト削減に努めました。

この結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間における売上高は105億56百万円（前年同期比6.0%増）、営業利益1億70百万円（前年同期比0.7%減）、経常利益1億79百万円（前年同期比1.6%増）、四半期純利益86百万円（前年同期比7.5%減）となりました。

※当第3四半期累計期間と前年同四半期の損益計算書とでは作成基準が異なっておりますので、前年同期比に関する情報は参考として記載しております。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて11億92百万円増加し、82億12百万円となりました。その主な要因は、受取手形及び売掛金が6億2百万円の増加、生産設備の増強などで有形固定資産が3億13百万円増加したことなどによるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べて11億42百万円増加し、41億65百万円となりました。その主な要因は、買掛金が4億56百万円の増加、運転資金として短期借入金が増加し、及び有形固定資産取得に要した未払金が2億32百万円増加したことなどによるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べて50百万円増加し、40億47百万円となりました。その主な要因は、その他有価証券評価差額金が43百万円増加したことなどによるものです。

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べて38百万円増加し、2億32百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期連結累計期間は、税金等調整前四半期純利益を1億69百万円計上し、仕入債務の増加による資金収入が4億56百万円、その他流動負債の増加による資金収入が2億16百万円ありましたが、売上債権の増加による資金支出が6億2百万円あったことなどにより、1億58百万円の資金収入となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期連結累計期間は、有形固定資産の売却による資金収入が1億60百万円ありましたが、有形固定資産の取得による資金支出が4億50百万円あったことなどにより、2億77百万円の資金支出となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期連結累計期間は、運転資金として短期借入金の資金収入が3億6百万円ありましたが、配当金の支払いで79百万円、長期借入金の返済で68百万円の資金支出があったことなどにより、1億57百万円の資金収入となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間の業績の動向等を踏まえ業績予想の見直しを行った結果、平成20年10月27日に開示しました平成21年3月期の通期の業績予想に変更はございません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① たな卸資産の評価方法

たな卸資産の簿価切り下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

② 「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成18年7月5日 企業会計基準第9号)を第1四半期連結会計期間から適用し、評価基準については、低価法から原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法)に変更しております。

これにより、従来「営業外費用」に計上していた「たな卸資産評価損」及び「たな卸資産廃棄損」については、「売上原価」で処理しております。この結果、売上総利益及び営業利益がそれぞれ13,614千円減少しております。

なお、セグメント情報に与える影響額については、当該箇所に記載しております。

(4) その他

(追加情報)

① 有形固定資産の耐用年数の変更

法人税法の改正に伴い、機械装置の耐用年数を見直した結果、従来7～15年としておりました耐用年数を第1四半期連結会計期間より、5～10年に変更しております。この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べ、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益が9,158千円増加しております。

なお、セグメント情報に与える影響額については、当該箇所に記載しております。

② 役員退職慰労金制度廃止

当社グループ(当社及び当社の連結子会社)は、第1四半期連結会計期間において役員退職慰労金制度を廃止しております。

これにより、当第3四半期連結会計期間末においては、制度廃止に伴う打ち切り支給額29,200千円を確定債務として、固定負債の「その他」に計上しております。

5. 【四半期連結財務諸表】  
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	232,444	194,192
受取手形及び売掛金	2,139,648	1,537,587
商品	26,937	13,166
製品	347,479	279,979
原材料	334,663	162,464
仕掛品	1,473	2,122
その他	153,930	116,531
貸倒引当金	△5,601	△4,867
流動資産合計	3,230,975	2,301,175
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	5,344,971	5,438,878
減価償却累計額	△3,060,880	△3,383,372
建物及び構築物(純額)	2,284,090	2,055,506
機械装置及び運搬具	3,407,581	3,364,319
減価償却累計額	△2,649,236	△2,707,533
機械装置及び運搬具(純額)	758,344	656,785
土地	1,391,563	1,403,747
その他	194,549	204,239
減価償却累計額	△167,993	△173,115
その他(純額)	26,556	31,123
有形固定資産合計	4,460,555	4,147,164
無形固定資産	34,987	48,457
投資その他の資産		
投資有価証券	428,434	396,686
その他	57,861	128,419
貸倒引当金	△306	△1,825
投資その他の資産合計	485,989	523,280
固定資産合計	4,981,532	4,718,902
資産合計	8,212,507	7,020,077

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,140,964	684,255
短期借入金	1,377,941	1,071,560
未払法人税等	31,069	10,743
その他	1,011,622	564,618
流動負債合計	3,561,597	2,331,177
固定負債		
長期借入金	428,560	497,230
退職給付引当金	145,645	160,201
その他	29,200	34,104
固定負債合計	603,405	691,535
負債合計	4,165,003	3,022,712
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	727,875	727,875
資本剰余金	550,675	550,675
利益剰余金	2,871,362	2,864,500
自己株式	△296	—
株主資本合計	4,149,615	4,143,050
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△102,111	△145,685
評価・換算差額等合計	△102,111	△145,685
純資産合計	4,047,504	3,997,364
負債純資産合計	8,212,507	7,020,077

(2) 【四半期連結損益計算書】  
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
売上高	10,556,817
売上原価	8,795,560
売上総利益	1,761,257
販売費及び一般管理費	
配送費	716,671
給料及び手当	282,973
その他	591,120
販売費及び一般管理費合計	1,590,765
営業利益	170,491
営業外収益	
受取利息	253
受取配当金	3,685
助成金収入	18,840
その他	11,927
営業外収益合計	34,706
営業外費用	
支払利息	20,790
その他	4,966
営業外費用合計	25,756
経常利益	179,441
特別利益	
有形固定資産売却益	142,279
特別利益合計	142,279
特別損失	
有形固定資産売却損	83,753
有形固定資産除却損	34,349
投資有価証券評価損	13,573
その他	20,083
特別損失合計	151,760
税金等調整前四半期純利益	169,960
法人税、住民税及び事業税	44,141
法人税等調整額	38,960
法人税等合計	83,102
四半期純利益	86,858

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

当第3四半期連結累計期間  
(自平成20年4月1日  
至平成20年12月31日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	169,960
減価償却費	277,196
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△785
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△14,555
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△34,104
受取利息及び受取配当金	△3,938
支払利息	20,790
有形固定資産除却損	14,433
有形固定資産売却損益 (△は益)	△65,531
投資有価証券評価損益 (△は益)	13,573
売上債権の増減額 (△は増加)	△602,061
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△27,876
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△263,499
仕入債務の増減額 (△は減少)	456,709
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	216,588
その他の固定負債の増減額 (△は減少)	29,200
その他	2,910
小計	189,011
利息及び配当金の受取額	3,969
利息の支払額	△21,113
法人税等の支払額	△13,323
営業活動によるキャッシュ・フロー	158,545
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△450,655
有形固定資産の売却による収入	160,768
無形固定資産の取得による支出	△5,817
投資有価証券の取得による支出	△1,794
その他	19,787
投資活動によるキャッシュ・フロー	△277,711
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入れによる収入	306,381
長期借入金の返済による支出	△68,670
自己株式の取得による支出	△296
配当金の支払額	△79,996
財務活動によるキャッシュ・フロー	157,418
現金及び現金同等物に係る換算差額	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	38,252
現金及び現金同等物の期首残高	194,192
現金及び現金同等物の四半期末残高	232,444

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項なし

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)

	加工食品事業 (千円)	パン事業 (千円)	役務事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高及び営業損益						
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	5,733,743	4,823,073	—	10,556,817	—	10,556,817
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	18,062	—	53,929	71,991	(71,991)	—
計	5,751,806	4,823,073	53,929	10,628,809	(71,991)	10,556,817
営業利益	292,982	86,991	19,141	399,115	(228,624)	170,491

(注) 1. 事業区分は、事業の種類・性質を考慮して区分しております。

2. 各事業の主な製品等

(1) 加工食品事業・・・冷凍食品、チルド食品、畜産品

(2) パン事業・・・焼成パン、調理パン

(3) 役務事業・・・不動産等賃貸業

3. 「定性的情報 4.その他 (3)四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更」に記載のとおり、第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」を適用しております。この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べ、「加工食品事業」で営業利益が、13,614千円減少しております。

4. 「定性的情報 4.その他 (4)その他 (追加情報)」に記載のとおり、第1四半期連結会計期間より有形固定資産の耐用年数の変更をしております。この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べ、「加工食品事業」で5,275千円、「パン事業」で3,883千円、それぞれ営業利益が増加しております。

【所在地別セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)において、本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。

【海外売上高】

当第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)において、海外売上高がないため、該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項なし



6. その他の情報

当社は、平成20年12月22日開催の取締役会において、平成21年3月18日を期して株式会社マルハニチロ食品と株式交換を行い、同社の完全子会社となることを決議し、株式交換契約を締結しました。詳しくは、平成20年12月22日に開示しました「株式交換契約締結に関するお知らせ」をご覧ください。

【参考】

前年同四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

前第3四半期連結累計期間(平成19年4月1日～平成19年12月31日)

区分	前年同四半期 (平成20年3月期 第3四半期末)		
	金額(千円)	百分比 (%)	
I 売上高		9,959,831	100.0
II 売上原価		8,274,105	83.1
売上総利益		1,685,726	16.9
III 販売費及び一般管理費			
1 運送費	680,998		
2 給料・手当	303,758		
3 その他	529,271	1,514,027	15.2
営業利益		171,698	1.7
IV 営業外収益			
1 受取配当金	5,399		
2 原子力立地給付金	16,921		
3 受取手数料	1,865		
4 損害賠償金収入	7,431		
5 雇用助成金収入	1,837		
6 保険金収入	4,632		
7 その他	2,715	40,803	0.4
V 営業外費用			
1 支払利息	18,033		
2 たな卸資産評価損	941		
3 たな卸資産廃棄損	14,311		
4 その他	2,634	35,920	0.3
経常利益		176,582	1.8
VI 特別利益			
1 貸倒引当金戻入益	816	816	0.0
VII 特別損失			
1 固定資産除却損	2,673		
2 投資有価証券売却損	690		
3 投資有価証券整理損	1,295		
4 リース解約損	593	5,252	0.1
税金等調整前四半期純利益		172,146	1.7
法人税、住民税及び事業税	63,987		
法人税等調整額	14,297	78,285	0.8
四半期純利益		93,861	0.9

(2) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

前第3四半期連結累計期間(平成19年4月1日～平成19年12月31日)

	前年同四半期 (平成20年3月期 第3四半期末)
区分	金額(千円)
<b>I 営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
1 税金等調整前四半期純利益	172,146
2 減価償却費	271,655
3 貸倒引当金の減少額	△2,256
4 役員賞与引当金の減少額	△1,600
5 退職給付引当金の減少額	△16,094
6 役員退職慰労引当金の減少額	△14,522
7 受取利息及び受取配当金	△5,645
8 支払利息	18,033
9 有形固定資産除却損	1,840
10 投資有価証券売却損	690
11 投資有価証券整理損	1,295
12 売上債権の増加額	△120,245
13 その他の営業債権の増加額	△58,192
14 たな卸資産の増加額	△157,384
15 仕入債務の増加額	119,581
16 その他の営業債務の増加額	38,363
17 その他	△16,326
小計	231,339
18 利息及び配当金の受取額	5,676
19 利息の支払額	△17,736
20 法人税等の支払額	△112,825
営業活動によるキャッシュ・フロー	106,454
<b>II 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
1 有形固定資産の取得による支出	△113,350
2 有形固定資産の売却による収入	557
3 無形固定資産の取得による支出	△894
4 投資有価証券の取得による支出	△1,897
5 投資有価証券の売却による収入	764
6 投資有価証券の整理による収入	5,000
7 その他	△2,563
投資活動によるキャッシュ・フロー	△112,384
<b>III 財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
1 長期借入金の返済による支出	△68,670
2 配当金の支払額	△80,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	△148,670
<b>IV 現金及び現金同等物に係る換算差額</b>	—
<b>V 現金及び現金同等物の減少額</b>	△154,599
<b>VI 現金及び現金同等物の期首残高</b>	362,933
<b>VII 現金及び現金同等物の四半期末残高</b>	208,333

セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間（自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日）

	加工食品事業 (千円)	パン事業 (千円)	役務事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高及び営業損益						
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	5,073,562	4,886,269	—	9,959,831	—	9,959,831
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	32,148	—	57,319	89,467	(89,467)	—
計	5,105,710	4,886,269	57,319	10,049,299	(89,467)	9,959,831
営業費用	4,829,492	4,792,128	36,280	9,657,901	130,232	9,788,133
営業利益	276,217	94,141	21,039	391,398	(219,699)	171,698

(注) 1 事業区分は、事業の種類・性質を考慮して区別しております。

2 各事業の主な製品等

(1) 加工食品事業・・・冷凍食品、チルド食品、畜産品

(2) パン事業・・・・・・焼成パン、調理パン

(3) 役務事業・・・・・・不動産等賃貸業

3 営業費用のうち、消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用の主なものは、当社の管理部門に係る費用であり、219,785千円であります。

【所在地別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間（自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日）において、本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。

【海外売上高】

前第3四半期連結累計期間（自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日）において、海外売上高がないため、該当事項はありません。